

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治田原町

| プロジェクト名 | 地域で支え合う福祉のまちづくり推進プロジェクト | | 実施期間 | H23～ | テーマ | 地域福祉対策プロジェクト (町重点施策) | 新規・継続の区分 | 新規 |
|----------------------------------|--|--------|--|--------|----------|---|----------|----|
| 地域における現状、課題及び住民ニーズ | <p>本町では、山々に囲まれた地理的特性から豊かな自然環境に恵まれているが、鉄軌道や高等学校の施設が町内になく、学生を含めた若者世代や現役世代の町外への転出が発生しており、若者世代等の町外への転出は、地域の活力を減退させる原因にもなっている。</p> <p>地域を活性化させていくためには、子ども（子育て世代）から高齢者までの全ての世代の人々または障がい者の方が、住み慣れた地域において安心して暮らしていくため、地域全体で支えあふ福祉のまちづくりの環境整備が必要とされている。一方、交通福祉対策として、鉄軌道がない本町においては、近隣市町への交通手段は、バス若しくは自家用車等に限定される。しかし、近年、自家用車の普及等により公共交通（バス）の利用者が減少し、町内一部地域においては、路線自体が廃止され、交通手段が自家用車以外にない地域が存在している。</p> | | | | | | | |
| プロジェクトの目的及び概要 | <p>住民の方々が、様々な年代において、直面している課題を克服しながら、安心して暮らしていけることができるように、子育て支援を始め高齢者福祉、障がい者福祉を充実させるため、各種事業を実施する。また、住民の足の確保充実のため福祉バスを運行することで、交通弱者をはじめとする住民生活を守る。</p> | | | | | | | |
| | 総事業費（千円） | 17,259 | 本年度事業費（千円） | 17,259 | 交付金額（千円） | 4,579 | | |
| プロジェクトを構成する事業の平成23年度事業実績(出来高数値等) | | | | | | | | |
| 事業分類 | 事業名 | 事業種別 | 事業概要 | | | 主な実績（出来高数値等） | | |
| 市町村 実施事業 | 障がい者の手引き作成事業 | 交付事業 | <p>障がい者福祉の推進・向上のため、各種障がい福祉サービス等について照会した手引きを作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がい者福祉サービス、各種助成制度等の情報掲載 | | | <p>◆「宇治田原町障がい者福祉の手引き（平成23年10月現在）」を配付</p> <p>〈送付等部数〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内の身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の各所持者約600名に対して送付 視覚障がい者用に点字版を20部作成、該当者に送付 | | |
| | 障がい者基本計画等策定事業 | 交付事業 | <p>障がい者に対する基本方針を明らかにし、障がい福祉サービス等に対する町の整備目標を示し、障がい者に対し生活への安心の付与を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がい者基本計画（H24～H29）及び障がい福祉計画（H24～H26） | | | <p>本町の障がい者施策全体の方向性を位置づける「宇治田原町障がい者基本計画」、そして障がい福祉サービス等の見込み量の設定とその確保のための方策を定める「第3期障がい福祉計画」を策定。</p> | | |
| | 障がい者施設通所交通費助成事業 | 交付事業 | <p>障がい者が住み慣れた地域社会で自立した生活と自己実現を図ることができるよう、(福)宇治田原むく福祉会が実施する障がい者ケアホームの事業運営を支援し、障がい者福祉の充実を図る。</p> | | | <p>公共交通機関を利用して施設に通所する方々に対し、町独自に交通費（障がい者割引を受けた場合は割引後の額）の2分の1を助成し、利用者の経済的負担の軽減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 上半期分 12名 下半期分 12名 | | |
| | 福祉タクシー事業 | 交付事業 | <p>障がいを持った方が各施設に通所するために要した交通費の一部助成又は、日常外出する際の福祉タクシー等利用券を交付し、生活行動範囲の拡大及び社会参加の促進を図る。</p> | | | <p>〈利用券交付枚数〉</p> <p>対象者に100円券120枚綴り1冊（12,000円分）を交付。</p> <p>〈平成23年度実績〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 146人に対し172冊を交付 交付総額に対する使用率 93.5% | | |
| | 子育て支援医療費支給事業 | 交付事業 | <p>町の特色として子育て支援の充実により、子育て世代の町外転出を防止し、子育てを通じた地域内での繋がりを創造、強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学生の外来・入院にかかる自己負担額の軽減を図るため、医療費を助成（自己負担額200円/月） | | | <p>出生から中学校修了まで子どもの医療費を助成。</p> <p>平成22年度 府 1,050件、町 848件 平成23年度 府 1,021件、町 1,115件</p> <p>※町制度の受給者数の増加は、対象年齢の拡充による。</p> | | |

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治田原町

| | | | | |
|-----------|---------------------|------|--|--|
| | 家庭支援カウンセリング事業 | 交付事業 | 専門家による育児不安の相談や指導を実施する。 | 専門家による育児不安の相談や指導を実施。 |
| | 高齢者福祉サービス事業 | 交付事業 | 高齢者並びにその家族に対し、安心して生活をおくるための各種支援を実施し、高齢者福祉の向上を図る。 ・緊急通報装置貸与事業（緊急通報装置の設置に要する費用を助成）、心配ごと相談事業（年6回） | ◆緊急通報装置貸与事業：61台 ◆心配ごと相談事業：5件 |
| | 福祉バス運行事業 | 交付事業 | 高齢者及び障がい者等の日常的な交通手段を確保するため、福祉バスを運行し、住民福祉の向上を図る。 ・運行便数：30便/日 ・運行経路：3ルート ・バス台数：2台 | ・運行日数：240日 ・利用者数：15,576人（昨年度より720名増） |
| | ギャラリーバス運行事業 | 関連事業 | 福祉バスに子どもの絵画を展示し、福祉バスを身近なものと感じることで利用者の増を図る。 | 福祉バスに子どもの絵画を展示し、福祉バスを身近なものと感じることで利用者の増を図った。 |
| | ファミリーサポート事業 | 関連事業 | 住民ボランティアとの協働で、「育児を手伝いたい方と、手助けをしてほしい方」を募り、子育て支援環境の充実を図る。 | 住民ボランティアとの協働で、「育児を手伝いたい方と、手助けをしてほしい方」を募り、子育て支援環境の充実を図った。 |
| | 証明発行・申請代行事業「届ケール」 | 関連事業 | 高齢者等外出が困難な方に対し、町職員が協力して、町発行の各種証明書について代行（手伝い）を行う。 | 高齢者等外出が困難な方に対し、町職員が協力して、町発行の各種証明書について代行（手伝い）を行った。 |
| 住民協働事業 | 地域で子育て「つどいの広場」事業 | 交付事業 | 空き民家を活用し、地域における幅広い世代の方が気軽に集い交流できる場を設置し、地域全体での子育てサポートの体制整備・充実を図る。 保育士資格を有するボランティアの方と協働にて、事業を実施。 | 空き民家を活用し、地域における幅広い世代の方が気軽に集い交流できる場を設置。 保育士資格を有するボランティアの方と協働にて、事業を実施。 |
| | 食の自立支援事業 | 関連事業 | 食事の作成ボランティア等との協働により、高齢者及び身体障がい者に昼食・夕食の配食サービスを実施。 | 食事の作成ボランティア等との協働により、高齢者及び身体障がい者に昼食・夕食の配食サービスを実施。 |
| 住民が取り組む事業 | 障がい者ケアホーム運営支援事業 | 交付事業 | 障がい者が住み慣れた地域社会で自立した生活と自己実現を図ることができるよう、（福）宇治田原むく福祉会が実施する障がい者ケアホームの事業運営を支援し、障がい者福祉の充実を図る。 | 事業主体である（福）宇治田原むく福祉会が建設した障がい者ケアホームの施設整備に伴う借入金金の元利償還分として補助金を交付し、施設経営負担を軽減。 |
| | 障がい者小規模通所授産施設運営支援事業 | 交付事業 | 障がい者が住み慣れた地域で自立した生活と自己実現を図ることができるように整備された障がい者ケアホーム及び知的障害者小規模通所授産施設に対し、運営に係る支援を実施。 ・建設に要した費用の元利償還金に対し一部助成することにより、法人事業運営の安定化が図られ、施設入所者及び通所者の生活を守ることにつなげる。 事業実施（運営）主体：宇治田原むく福祉会 | ◆障がい者が住み慣れた地域で自立した生活と自己実現を図ることができるように整備された障がい者ケアホーム及び知的障害者小規模通所授産施設に対し、運営に係る支援を実施。 ◆経営アドバイザー派遣費用への支援を行う拡充を実施。アドバイザーによる会議には町職員も参画する体制を整え、当該福祉施設における今後のさらなる事業の充実・展開に向けた検討が進められた |
| | 障がい者仕事支援事業 | 交付事業 | 障がいを持った方も自立した生活が送れるよう障がい者施設における仕事内容の充実・発展を支援 ・町の地域特性に応じた高付加価値の野菜づくり・販売活動事業実施（運営）主体：宇治田原むく福祉会 | 障がい者がいきいきと自立した生活が送れるよう、仕事として「畑作業を通じた野菜の生産と販売」を実施。生産拠点となる農地の確保を支援するとともに、野菜の生産に必要な農機具等の購入費用を支援。 |

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治田原町

| | | | | | |
|------------------------|--|---|--------|---|--|
| 成果指標① | 成果指標の目標数値 | 福祉バス利用者の増 | | 成果指標の実績値 (○年○月○日時点) | 利用者数：15,576人（昨年度より720名増） (平成24年3月31日時点) |
| | 成果指標の達成状況 | ◎ | (左の理由) | 昨年度より大幅に利用者が増え、高齢者及び障がい者等の日常的な交通手段として浸透してきている。 | |
| | 成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期 | | (理由) | | (時期) |
| 成果指標② | 成果指標の目標数値 | 障がい者仕事支援事業における収入・生産性の増 (平成22年度野菜売上金 282,432円) | | 成果指標の実績値 (○年○月○日時点) | 施設における平成23年度野菜売上金 243,963円 (JA直売所・役場販売・各種販売等) (平成24年3月31日時点) |
| | 成果指標の達成状況 | ○ | (左の理由) | 昨年度と比べると売上金は減少しているものの、平成21年度の売上金は27,304円であったことを考えると、着実な成果をあげており、事業を通して本町の特産物・自然環境・人材などの地域資源を多いに活かした障がい者の仕事の場となっていると言える。 | |
| | 成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期 | | (理由) | | (時期) |
| 本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 | 経済的支援やサービスの提供、及び基本計画の策定等、様々な面からの活動により、宇治田原町の福祉環境の向上につながっている。 | | | | |
| ※未達成の場合も効果を記載すること | ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。 | | | | |
| 本プロジェクトに対する自己評価 | 関連事業との連携効果 | | | | |
| | 府と市町村等との連携に資する成果 | | | | |
| | 住民の自治意識を高める成果 | 育児におけるマッチング事業や子育て交流の場の設置により、地域で子育てを支援する体制づくりを構築することができた。 | | | |
| | リーディング・モデル成果 | | | | |
| | 広域的波及成果 | | | | |
| | 行財政改革に資する成果 | ボランティアの協力により、経費を抑えながら子育ての支援を図ることができた。 | | | |
| | その他の成果 | 障がい者が継続して仕事に従事することで、自立した生活を送ることが期待でき、また仕事内容の充実のために地域団体等の支援を得ていくことで、地域活動の活性化に繋がっている。 | | | |

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。